



その他

6-1 学会等の参加

(1) 第62回日本人間ドック学会学術大会

年 月 日	演 題 題 目
令和3年9月10日から 令和3年9月24日まで Web開催	当センターにおける健診受診者に対する健診後の健康づくり支援について

発表者：仙田力也、平山幹生、伊藤和幸

【目的】

健診受診者に対して、健康に対する意識の向上と知識の普及を図るとともに、継続的な健康づくりの実践の場を提供し、健康寿命の延伸につなげることを目的とする当センターの健診後の健康づくりを支援する取り組みを紹介する。

【内容】

健診後の健康づくりを支援するために、重症化予防教室及び一次予防サイクル事業を実施した。重症化予防教室は、人間ドック等を受診し、結果が要経過観察に該当した者を対象に、重症化への進行を防ぐため、「生活習慣病重症化予防」「CKD重症化予防」「ロコモティブシンドローム予防」等をテーマとした教室を実践している。これらの教室は集団指導と位置づけ、医師・保健師・管理栄養士による講話、健康運動指導士による運動実践を組み合わせた内容であり、令和元年度の実績は実施回数48回、述べ参加者808人であった。次に、一次予防サイクル事業は、健診受診者のうち希望者が体力年齢を把握するための体力測定を実施し、その結果に応じて健康運動指導士・保健師・管理栄養士による個別指導を実施した後、通年開催する事後支援講習会（個々の能力に合った強度で参加できるウォーキング・エアロビクス等の運動教室及び栄養料理実習）を受講することで、継続的な運動と食生活の改善を実践するものである。長期にわたり自分の健康状態を把握する1年周期のサイクル（健診受診→体力測定→個別指導→事後支援講習会→効果測定→健診受診）を構築する内容であり、令和元年度の実績は体力測定実施回数81回、参加者数749人、事後支援講習会実施回数710回、述べ参加者数26,053人であった。

【結語】

健診により把握された不良な健康状態の進展を防ぐことを目的とした重症化予防教室及び健診から始まる一次予防サイクルは、疾病の早期発見と生活習慣の見直しによる疾病予防に寄与することから、健康寿命の延伸に有効な取り組みであると考え今後その効果を検証していく。

(2) 論文投稿

雑誌名	演題題目
人間ドック 36 : 516-523, 2021	胸部X線検査におけるデュアルエネルギーサブトラクションの有用性の検討

著者：橋口勝、祖父江功、森則久、山中暁弘、金井沙耶香、藤牧爽花、平山幹生、伊藤和幸、矢野孝

【目的】

胸部X線検査において、軟部組織および骨組織を強調した画像が得られるデュアルエネルギーサブトラクション (Dual-Energy Subtraction :DES) を胸部X線画像に応用することにより、病変の描出能の向上と受診者に対する説明時の有用性を検討した。

【方法】

当センターの人間ドックで、DES導入前の3年間に胸部X線検査を行った22,000人とDES導入後3年間の26,276人を対象として、要精検率とがん発見率についてDES導入前後を比較検討した。また、読影業務に携った医師5名、及び結果説明に携った医師5名に対してDESの有用性に関するアンケートを実施した。

【結果】

胸部X線検査で要精検率は、DES導入前は1.92%であったが、導入後は2.34% ($P < 0.05$) と高くなり、がん発見率も導入前の0.03%に対し、導入後は0.08% ($P < 0.05$) と上昇した。読影業務に携わる医師へのアンケート結果では、全員がDESは読影補助に役立っていると回答した。結果説明に携わる医師へのアンケート結果では、4名は結果説明にDESは有用であると回答した。

【結語】

DES導入によってがん発見率が上昇したのは、軟部組織画像で読影の障害となっていた肋骨などとの重なりが軽減され、病巣陰影がより鮮明に描出されたことによると考える。さらに骨組織画像では、冠動脈の石灰化像を描出でき、動脈硬化症の発生・進展予防に着眼した生活習慣改善指導においても有用であった。DESは胸部X線検査において精度向上、読影支援、受診者への結果説明の点で有用である。

【キーワード】

デュアルエネルギーサブトラクション、胸部X線検査、肺がん検診、冠動脈石灰化

6-2 会議活動

【健診担当者会議】

ア 目的・内容：健診事業・健康づくり事業にかかる各ミーティング（臨床検査技師ミーティング、診療放射線技師ミーティング、看護師ミーティング、健康づくり担当者ミーティング）を統括し、健診事業の円滑な実施に資する。

イ 開催：原則第1水曜日 午後3時30分～

ウ 構成：7名

【医療安全担当者会議】

ア 目的・内容：医療の質の向上と安全管理及び院内感染対策を総合的に企画・実施する。

イ 開催：原則第2水曜日 午後3時30分～

ウ 構成：6名

【サービス向上担当者会議】

ア 目的・内容：施設利用者に対するサービスの改善と質の向上の推進を図る。

イ 開催：原則隔週金曜日 午後3時30分～

ウ 構成：6名

【事務会議】

ア 目的・内容：事務管理・施設運営に係る事項を協議し、効率的な法人運営及び事務執行に資する。

イ 開催：原則第3水曜日 午後3時30分～

ウ 構成：4名

【年報編集委員会】

ア 目的・内容：事業団の年報の編集・作成を行う。

イ 開催：年間2回、その他担当ごと編集作業を実施

ウ 構成：7名

【機関誌編集委員会】

ア 目的・内容：事業団の機関紙の編集・作成を行う。

令和3年度は「vol.12 健康マイスター活躍中」、「vol.13 肺の健康を守ろう」を作成。

イ 開催：随時

ウ 構成：6名



機関誌 新発健vol.12、vol.13



医療安全研修



取組み成果の公表

年報編集委員会

令和3年度版 公益財団法人春日井市健康管理事業団年報

令和4年12月発行

編集・発行 公益財団法人春日井市健康管理事業団

〒486-0804

春日井市鷹来町1丁目1番地1

TEL 0568-84-3060

FAX 0568-84-3682